共創センター

## 排出放射性物質に関する理解醸成活動

# 地域の方々の疑問や関心に応えるための理解醸成活動の拠点となる

六ヶ所村にある大型再処理施設の操業を控え、地域の方々の放射線や放射性物質に関する関心は高まりつつあります。環境研では30年以上にもわたる調査研究で、関連する多くのデータや成果を積み重ねてきました。また、他の研究機関との連携やネットワークによる調査研究活動を強化しています。環境研のみならず国内外の力を結集し、地域の方々の疑問や関心に応えるための活動を進めていきます。

### ワークショップや学習会の開催

いつでもどこでも、ご希望に応じて開催します。

環境科学技術研究所にて

地域の公共施設にて

### 県内各地でのセミナー開催

気軽に参加できるセミナー等を行っています。

県内各地域において

### 地域教育機関との連携

人材育成に取り組んでいます。ご相談ください。

高校生サイエンスツアー

自然体験学習（小・中学生）

### 地域との共創活動

自治体、地域団体等との共創活動に取り組んでいます。

地域共創委員会

地域団体と共同での交流活動

### 研究ネットワークの強化

県内をはじめ国内外の研究機関との連携強化を図っています。

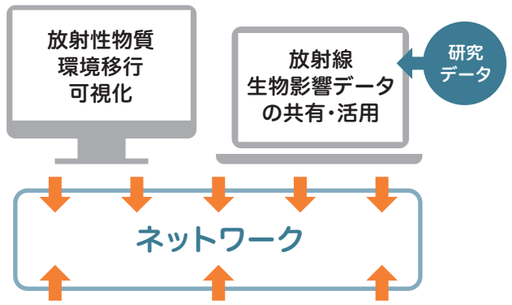
研究者交流会

◎国際連携
ICRP（国際放射線防護委員会）
BfS（ドイツ連邦放射線防護庁）ほか

◎ERAN
放射線環境動態・影響評価ネットワーク共同研究拠点
（CRiED、IER、IREM、JAEA、NIES、IES）

### 調査研究成果の可視化と活用

これまでの研究の成果をより分かりやすく発信していきます。






# 環境科学技術研究所の事業内容・沿革

核燃料サイクル施設の六ヶ所村への立地にあたり、青森県からの原子力関係研究施設の立地の要請を受けて、平成2年に設立されました。大型再処理施設から排出される放射性物質による周辺地域（環境・人）に対する影響を調査研究するとともに、その成果を広く発信し、理解増進を図ることを目的として活動を行っています。

## ■事業内容（定款第4条）

（1）放射性物質等の環境影響等環境安全に関する調査研究

（2）放射性物質等の環境影響等環境安全に関する技術・情報の提供

（3）放射性物質等の環境影響等環境安全に関する普及啓発

（4）原子力開発利用の発展に寄与する人材育成への支援

（5）その他この法人の目的を達成するために必要な事業

## ■沿革

1990　（平成2）年 12.3 ：内閣総理大臣の許可により財団法人として設立
1990　（平成2）年 12.6 ：六ヶ所村の現地仮事務所において業務開始
1993　（平成5）年　3　：事務・研究棟（現・本館）完成
1995　（平成7）年　3　：低線量生物影響実験棟完成
2001（平成13）年　3　：全天候型人工気象実験施設完成、閉鎖型生態系実験施設完成
2004（平成16）年　9　：先端分子生物科学研究センター第1研究棟完成
2008（平成20）年　3　：先端分子生物科学研究センター第2研究棟完成
2012（平成24）年　4　：公益財団法人へ移行
2021　（令和3）年 12　：共創センター設置
2022　（令和4）年　4　：研究部門を再編成し、環境影響研究部及び生物影響研究部に加えて、新たにトリチウム研究センターを設置